

平成30年5月24日  
於  
府中市立教育センター

平成30年第5回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成30年第5回府中市教育委員会定例会議事録

- 1 開 会 平成30年5月24日(木)  
午前10時00分  
閉 会 平成30年5月24日(木)  
午前10時31分
- 2 議事録署名員  
教育長 浅 沼 昭 夫  
委 員 松 田 努
- 3 出席者  
教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘  
委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 那 須 雅 美  
委 員 松 田 努
- 4 欠席者  
なし
- 5 出席説明員  
教育部長 関 根 昌 一 文化スポーツ部長 五味田 公 子  
教育部次長兼学務保健課長 堀 江 幸 雄 文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長  
教育部副参事兼指導室長 伊 藤 聡 文化生涯学習課長 古 田 実  
教育総務課長 佐々木 和 哉 ふるさと文化財課長 江 口 桂  
教育総務課長補佐 遠 藤 公巳明 ふるさと文化財課長補佐 大 川 享  
学校施設課長 山 田 英 紀 市史編纂担当主幹 英 太 郎  
学校施設課長補佐 藤 原 英 行 スポーツ振興課長補佐 青 木 達 也  
給食センター所長 時 田 浩 一 図書館長 酒 井 利 彦  
指導室長補佐 鈴 木 正 憲 図書館長補佐 青 木 眞 輝  
統括指導主事 田 村 貴代美 美術館副館長 相 馬 修 央  
統括指導主事 吉 田 周 平  
指導主事 國 廣 淨 和  
指導主事 田 中 繁 広  
指導主事 進 藤 智 洋
- 6 教育委員会事務局出席者  
教育総務課係長 矢 島 彩 子  
教育総務課主任 元 村 考 呂

## 議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第4 報告・連絡

- (1) 平成30年度府中市教育委員会における主な取組について
- (2) いじめの重大事態への対応について
- (3) 郷土の森博物館「あじさいまつり」の開催について
- (4) 2018ボールふれあいフェスタの開催について
- (5) 第29回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午前10時開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、平成30年第5回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、私のほか松田委員にお願いいたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 本日の報告連絡の2番は個人情報に係る案件ですので、非公開扱いとし、議事進行の都合上、議事日程の最後に報告連絡することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第7の教育委員報告の後、定例会を中断し、非公開会議で定例会を再開して、本件を報告連絡いたします。

傍聴の方に申しあげます。本日の報告連絡の資料2につきましては、個人情報が記載されているため、配布しておりませんので、ご承知おきください。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、議案でございますが、本日は議案の審議はございません。

◇

◎平成30年度府中市教育委員会における主な取組について

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡（1）を教育総務課、お願いします。

○教育総務課長補佐（遠藤公巳明君） それでは報告・連絡事項（1）平成30年度府中市教育委員会における主な取組についてご説明をさせていただきます。

教育委員会では、当該年度における主な取組を担当課ごとにまとめて公表しており、このたび資料1のとおりご報告するものでございます。

平成30年度の主な取組の総数は42で、このうち積極的、重点的に行う取組は校舎等老朽化対策の推進、新学習指導要領への移行支援、生涯学習センターの活用とスポーツ施設の整備など12の取組、新たな取組としましては、東京2020大会に向けた文化事業の実施、オリンピック・パラリンピック等の気運醸成の2つの取組がございます。

この取組に対する点検及び評価につきましては、来年度学識経験を有する方の意見を聴取しながら報告としてまとめていく予定でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問、ご意見はございますか。よろ

しいですか。

それでは、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎郷土の森博物館「あじさいまつり」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（3）をふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（大川 享君） それでは、ふるさと文化財課から資料3に基づきまして、郷土の森博物館あじさいまつりの開催につきましてご報告いたします。

郷土の森博物館の園内では1万株、30種類のあじさいが既に色づき始め、6月の半ばには見ごろを迎えます。開催期間は5月26日土曜日から7月8日日曜日まででございます。期間中はあじさい工房であじさいの飾りづくりや、お茶室ではこの期間限定のあじさい餅が楽しめる呈茶が楽しめるほか、一昨年度から新たに企画して実施しているあじさいコンサートでは、武蔵国府太鼓の演奏会や府中市芸術文化協会むさし府中笛連盟の篠笛の演奏など市民協働による多彩なコンサートも実施いたします。ぜひともあじさいまつりへのご来場をお待ちしております。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（3）について了承いたします。



◎2018ボールふれあいフェスタの開催について

◎第29回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（4）及び（5）を一括してスポーツ振興課、お願いします。

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） それでは、スポーツ振興課より2件を一括してご報告させていただきます。まず資料4の2018ボールふれあいフェスタの開催についてでございますが、本事業は子どもたちに日本トップレベルのスポーツ選手と触れ合う中で、スポーツが持つ楽しさを体験してもらうことを目的として開催しており、今年度は6月3日の日曜日に郷土の森総合体育館及び郷土の森サッカー場の人工芝グラウンドで開催いたします。

15回目となります今回もトップチームの東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、アルバルク東京、FC東京、府中アスレティックFCの各チームと市内関係団体のご協力のもと実施いたしますが、昨年度に引き続きまして東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成といたしまして、エキシビションで車いすバスケットボールのオーストラリア代表が来場するほか、ボッチャの体験コーナーや開会式の中では「みんなでラジオ体操プロジェクト」の時間を設ける予定となっております。

続きまして、資料5の第29回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催についてでございますが、本事業は広く市民の間にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、市民1人1人がその活動の振興に貢献することを目的として開催しており、今年度は総合開会式を6月24日日曜日の午前10時より郷土の森総合体育館で行います。開会式終了後には引き続き市民団体による演技種目の発表が行われるほか、その後約1カ月間にわたって14の競技種目が実施されますが、その多くが小中学生も参加できるものとな

っております。

なお、詳細につきましてはそれぞれ資料のとおりでございますが、委員の皆様にもご臨席いただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問、ご意見ございますか。

○委員（那須雅美君） どちらも市民の方がたくさん参加されてとてもいいイベントだと思います。ボールふれあいフェスタのほうで伺います。エキシビションのバスケットボールオーストラリア代表チームの演技時間によってプログラムの体験順を考えたり、それだけを観に行こうかと思う方のために、そのチームが登場する時間の告知がチラシにあれば良いのではないかという話を、昨年もさせていただいたと思うのですけれども、今年はこれはどんな時間帯に行われるのでしょうか。

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） 昨年度同じご指摘をいただいていたのは承知しております。このエキシビション自体は12時過ぎの時間から1時間程度実施する予定でございます。このフェスティバル全体の時程なのですけれども、毎回こちら最後まで時間の調整をさせていただく中で、こちらのチラシについては申し訳ございません。早めに校正、それから納品を予定しておりまして、載せ切れない部分がございます。そのかわりホームページのほうには詳細の時程を確定次第載せているといった現状でございますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

○委員（那須雅美君） わかりました。ありがとうございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（4）及び（5）について了承いたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他ですが、何かございますか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第6、教育長報告に移ります。活動状況については別紙の「平成30年第5回教育委員会定例会 教育委員会活動報告書」のとおりでございます。なお、この報告書は平成30年4月14日から平成30年5月18日までの活動内容となっております。

私から特段ご報告はございません。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況につきましては別紙のとおりでございます。

まず、崎山委員にお願いいたします。

○委員（崎山 弘君） まず、崎山からご報告いたします。私からは5月のゴールデンウィークに開催されたくらやみ祭について報告いたします。

私が住む武蔵台の地域では太鼓や神輿はありませんが、おはやしの子もたちとともに山

車巡行に参加いたしました。武蔵台は市の中心部からそれなりに遠いので、子どもたちと武蔵台一丁目自治会館を14時に出発して大國魂神社を目指します。武蔵台、北山町、西原町から子どもたちが150人ほど参加しました。七小、武蔵台小、七中からもそれぞれの校長先生を初めとして20人ほどの先生方も参加してくださいました。教員の負担軽減を図るこのご時世ではありますが、連休の真ん中の5月4日に子どもたちのために多くの先生方に参加していただいたことをとてもうれしく思うとともにありがたく感じました。

また、大國魂神社周辺では各地区から集まった山車行列の中に、それぞれの地区の校長先生も数多くお見かけいたしました。学校の外で祭りの一体感を得ることによって、子どもたちと先生方との距離感がより縮まったことでしょう。とても有意義な1日を過ごすことができました。

私からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。続きまして齋藤委員、お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） 少し以前のことになりますけれども、4月20日に行われました都の教育施策連絡会に出席しての感想を述べさせていただきます。

最初に行政説明として平成30年度の東京都教育委員会主要施策の概要についての説明がありました。大きな取組の柱については都の昨年度からの取組を充実させる内容のように思いましたが、その中の学校における働き方改革推進プランというものの中で、週当たりの総在校時間が60時間を超える教員をゼロにするという当面の具体的な目標を示している点などが印象的でありました。教員の働き方については単に形式的な在校時間のみではなく、教員の資質や指導力の向上と教育活動の改善・充実等をあわせて検討して、教員にも子どもたちにもよりよい結果をもたらされるように改善することが大切であろうと思いました。ともあれ、こうした都の教育委員会の施策を踏まえて本市の教育施策についても考えて進めていく必要があろうと思った次第です。

それに続きましてパネルディスカッションが行われ、2030年代の社会変革に学校はどう備えるべきかというテーマのもとに、いろいろな立場の意見を聞くことができました。特に基調講演としての国立情報学研究所の先生のお話は興味深い内容でした。10年後の社会は人口知能が大きく発展、活用される世の中となり、そこで人間はどう生きていくべきか、ITにできること、できないこと、人間にしかできないことなどについてしっかり考えながら子どもたちの教育に当たっていく必要があるとの問題提起は、そのとおりであると思えました。

我が国には学習指導要領というナショナルスタンダードがあり、10年に一度改定されていくから、それを頼りにさえしていればよいというものではなく、教育関係者としては現在と10年以上先を見据えながら仕事に当たっていく必要があるのだろうということを考えさせられた次第でございました。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは、続きまして那須委員、お願いします。

○委員（那須雅美君） 5月1日に郷土の森博物館のプラネタリウムリニューアルオープン記念式典に出席し、最新鋭の投映機による繊細な部分まで再現された星空と迫力ある映像

を体験いたしました。

「府中には宇宙がある」をコンセプトにした天文展示コーナーは、一般的な天文の知識を単に並べて展示するだけではなく、府中と宇宙のかかわりについて紹介する工夫された展示に生まれ変わっていました。宇宙にはM u s a s h i f u c h uと名づけられた小惑星があるので、府中には宇宙がある、そして宇宙にも府中があるということになり、とても興味深く、見ていて宇宙が身近に感じられる展示でした。式典には校長先生方も出席されていましたが、学校便りにおいて先生がプラネタリウムを見た感想を含め、リニューアルされた内容に触れてくださっている学校がありました。校長先生方が発信してくださることは非常にありがたいことだと思います。校外学習で訪れる学校もありますが、先生方には府教研など仕事でも、もちろん私的にでも積極的に足を運んでいただいて、ぜひ子どもたちに感想を伝えていただきたいですし、児童・生徒に限らずこれからのあじさいまつりに来られる皆さんにもぜひプラネタリウムもご覧いただきたいと感じました。

報告書の期間外ではありますが、5月19日に美術館企画展「長谷川利行展」に参りました。長谷川利行は昭和初期、東京の風景や人々を描いた画家で、簡易宿泊所などに寝泊まりする生活で、絵を売って酒代や宿代を稼ぎ、最後は路上で倒れ49歳の若さで亡くなったとのこと。彼のことを今回の企画展で初めて知ったのですが、絵を見る前、そのような波乱に満ちた生涯を送った画家だと聞いたときには、描かれた絵というのはずさんだ暗い絵のように勝手に想像していました。しかし、実際に見てみると勢いのある筆使いで、独特な描き方や企画展の題に「七色の東京」とあるとおりの色づかいで、よい意味で予想を裏切られ、じっくり鑑賞いたしました。

長谷川利行の名前を今まで耳にしたことがない方々も多いかもしれません。そうだとしたら、ヨーロッパの有名美術館所蔵展や名の通った日本画家展のように初めから人を呼び込める企画ではないかもしれませんが、見るべき価値は十分にあると感じるので、1人でも多くの方々に足を運んでいただくための考え得る工夫をお願いしたいと思います。

最後に、先月この定例会で報告があった府中市史の民俗分野報告書1「ライフストーリーふちゅう」を読んだ感想です。民俗学的な視点というような学術的なことは、私にはよくわかりませんが、限られた方々の、またその方々の人生のごく一部を読んだだけで、たまたま数年前に府中に越してきた私にとって、現在の府中がこのような人々の暮らしの上に成り立っているものだというところを感じることができました。

私からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは松田委員、お願いします。

○委員（松田 努君） 私からは、5月13日の朝日サッカー場にて開催されたキャンプ地利用キックオフイベントに臨席しました。あいにくの途中からの雨で、準備していたイベントの7人制ラグビー日本代表選手の皆さんと白糸台小のメンバーとのタグラグビー交流会、また一般の方の天然芝体験は中止になってしまい、室内での交流だけになってしまったのですけれども、記念セレモニーは実施できました。府中市が取り組んでいるラグビーワールドカップ、それからオリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致などの実現に向けて、また一歩前進できたのではないかとうれしく思っています。

直近では男子セブンズ代表の公開練習や女子セブンズ代表も練習したりしているようです。

ので、ますます盛り上がり、そして府中の子どもたちがどうやって興味を持って、いろいろな形でかかわり、さまざまな体験ができるようになっていくかということにつながってほしいなと思っています。

私からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、ここで定例会を中断いたします。恐れ入りますが、傍聴者及び説明員などの関係者以外はご退席をお願いいたします。

午前10時18分中断

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

午前10時20分再開

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎いじめの重大事態への対応について

(非公開会議により非公開)

○教育長（浅沼昭夫君） それではこれで平成30年第5回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。ありがとうございます。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

午前10時31分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

平成30年8月23日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

松田 努